

令和7年度 栃木市立国府北小学校学校教育構想 グランドデザイン



—国府北小学校 学校教育目標—

本校の教育理念「まごころ」を基盤に

未来を志向し、自ら考え、正しく判断し、力強く生きる児童の育成
【スローガン：ありがとうと言える人 ありがとうと言われる人になろう】

《栃木市の基本理念》

希望に向かい 伸び伸びと個性を発揮し
互いに認め合いながら よりよい社会を築いていく
”とちぎ愛”に満ちた人を 育てます
キーワード：「生命尊重・人権尊重」「郷土愛」
「生きる力・生き抜く力」
「多様性・包摂性」

《東陽中ブロック 重点目標》

- ・多様な意見や情報をもとに主体的に考え、表現できる児童の育成
- ・多様な人との交流を通して自他の存在を尊重し、共に成長する子供の育成

《東陽中ブロックの目指す子ども像》

人とつながり、地域とつながり、自分の力で未来を切り開く東陽の子ども

《目指す学校像》

- ・まごころと学びの喜びが実感できる学校
- ・子どもや教職員が生き生きと活動している元気な学校
- ・保護者や地域から信頼される学校

学校経営の方針

- 1 教育理念「まごころ教育」 スローガン「ありがとうと言える人 ありがとうと言われる人になろう」の推進
～well beingの向上をめざして～
- 2 多様な他者と共感・共生できる心や態度の育成 ～多様な子どもを誰一人取り残さない教育（学年担任制）を進める～
- 3 「できた」「分かった」が実感できる児童主体の授業展開（とち介の学び）と「確かな学力」の育成
- 4 たくましく・しなやかな身体の育成 ～自分の身は自分で守る、自分で判断し行動できる素地づくり～
- 5 ふるさとへの愛着と誇りを持ち、地域で育つ自覚と感謝の心を育てる
- 6 学校運営協議会・アシストネット・保護者とともに、地域に根ざす開かれた学校づくりの推進
- 7 タイムマネジメントや業務改革を意識して、安心・安全で居心地のよい学級づくり・職場づくり

《教職員のまごころ》

- 1 認めてほめて励まして 信じて待って 見届ける姿勢
- 2 全職員で 全児童のよさを認め 伸ばす支援
- 3 児童とともに作り上げる 分かる授業の実践
- 4 優しさと厳しさと 相手意識をもった指導
- 5 いつでも どこでも だれにでも 明るい笑顔の率先挨拶

《地域・保護者に信頼される学校をめざして》

- ・地域とともにある学校づくり
（学校運営協議会との連携、積極的なとちぎ未来アシストネットの活用）
- ・開かれた学校をめざし、情報の送受信の推進
- ・児童ファースト、健康で安心・安全な教育環境づくり
（児童との時間を確保するための職員のタイムマネジメント、業務改善を含めた環境の整備）

伸ばしたい児童の力

○考えてチャレンジしてみる ○失敗してもあきらめない ○違う方法でも試せる ○困ったときの対処法 ○コミュニケーション力 ○情報を得る・生かす

教育目標とめざす子どもの姿具体的な取り組み

思いやりのある子ども

徳

「ありがとう」まごころいっぱい
国府北の子

<具体的な取り組み>

- ・安心・安全な居場所づくり
- ・相手を認め、気持ちを伝える
あいさつ・ことばの推進
- ・児童主体のふれあい活動の実践
- ・地域の力（郷土愛）の育成
- ・過ごしやすい環境づくり

よく考える子ども

知

一人でもみんなでもわくわく学ぶ
国府北の子

<具体的な取り組み>

- ・学習者が主体の授業づくり
- ・学びの基礎づくり
- ・情報・知識を得て、生活・学習に生かす
- ・地域の力（学習支援）の活用
- ・多様性を認める学習環境づくり

がんばる子ども

体

目標に向かって努力できる
国府北の子

<具体的な取り組み>

- ・自分の身（健康・安全）は自分で守る力の育成
- ・正しい判断と強い意志の育成
- ・行事や活動をとって学ぶPDCAサイクルの実践
- ・自信につながる環境づくり（成功体験）

学校課題 資質・能力 『読み解く力』『表現する力』 非認知能力『ねばり強さ』『自己調整する力』を育むための3つのプロジェクト

ICT活用・管理、GIGAスクール 部会

子どもの情報活用能力の育成
～正しい判断と読み解く力～

○活用の仕方を提案し、
児童も職員もICT活用力を向上させよう

学力向上・授業力向上 部会

子どもの目線で考える授業構想
～つなげて考え、表現する力～

○やる気につながる授業の導入、
良い取り組みは、全クラスでの実践に広げよう

マネジメント力向上 部会

自らの学びをマネジメントする力の育成
～成功体験と自分に合った目標設定～

○月目標を実践し、
子供たちの成長につなげよう